

Accuphase

CLASS-A STEREO POWER AMPLIFIER

A-65

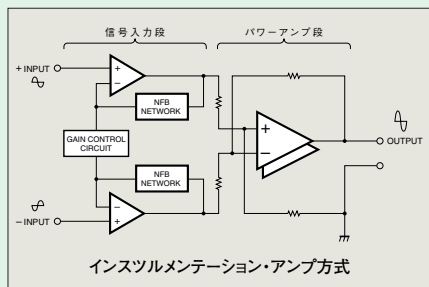
●純A級動作、60W/8Ω×2のクオリティ・パワー●出力段は「パワー・MOS FET」10パラレル・プッシュプル構成、1Ωの超低インピーダンスまでリニアなハイパワーを実現●入力部は、インスツルメンテーション・アンプ方式を導入●増幅部に、より進化したMCS+回路を搭載●優れた音質と安定度を誇るカレントフィードバック増幅回路●ブリッジ接続によりモノフォニック・アンプにアップグレード●真の電力値を表示するデジタル方式とバーグラフ、2種類のメーターを切り替え可能



インストゥルメンテーション・アンプ構成とさらに進化した『MCS+』回路搭載

増幅部は、インストゥルメンテーション・アンプ構成によりフルバランス伝送化

新たに導入した『インストゥルメンテーション・アンプ(Instrumentation Amplifier)』方式は、入力端子からパワーアンプ段までの信号経路

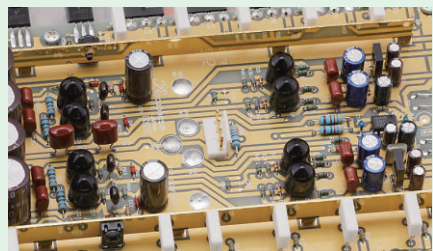


をフルバランス伝送化しています。このため、CMRR(Common Mode Rejection Ratio:同相信号除去比)やひずみ率などの諸性能に優れているだけでなく、外部雑音など周囲の環境の変化に非常に強く、パワーアンプとしての安定度・信頼性が飛躍的に向上しました。

さらに進化した『MCS+』回路を搭載し、より低雑音化を実現

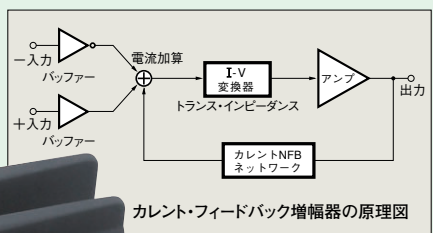
MCS(Multiple Circuit Summing-up)は、同一回路を並列接続することで諸特性を向上させる回路方式です。『MCS+』回路はMCSをさらに進化したもので、並列動作させる部分を『電流

→電圧変換部』のA級ドライブ段にまで拡張して、さらなる低雑音化を実現しました。



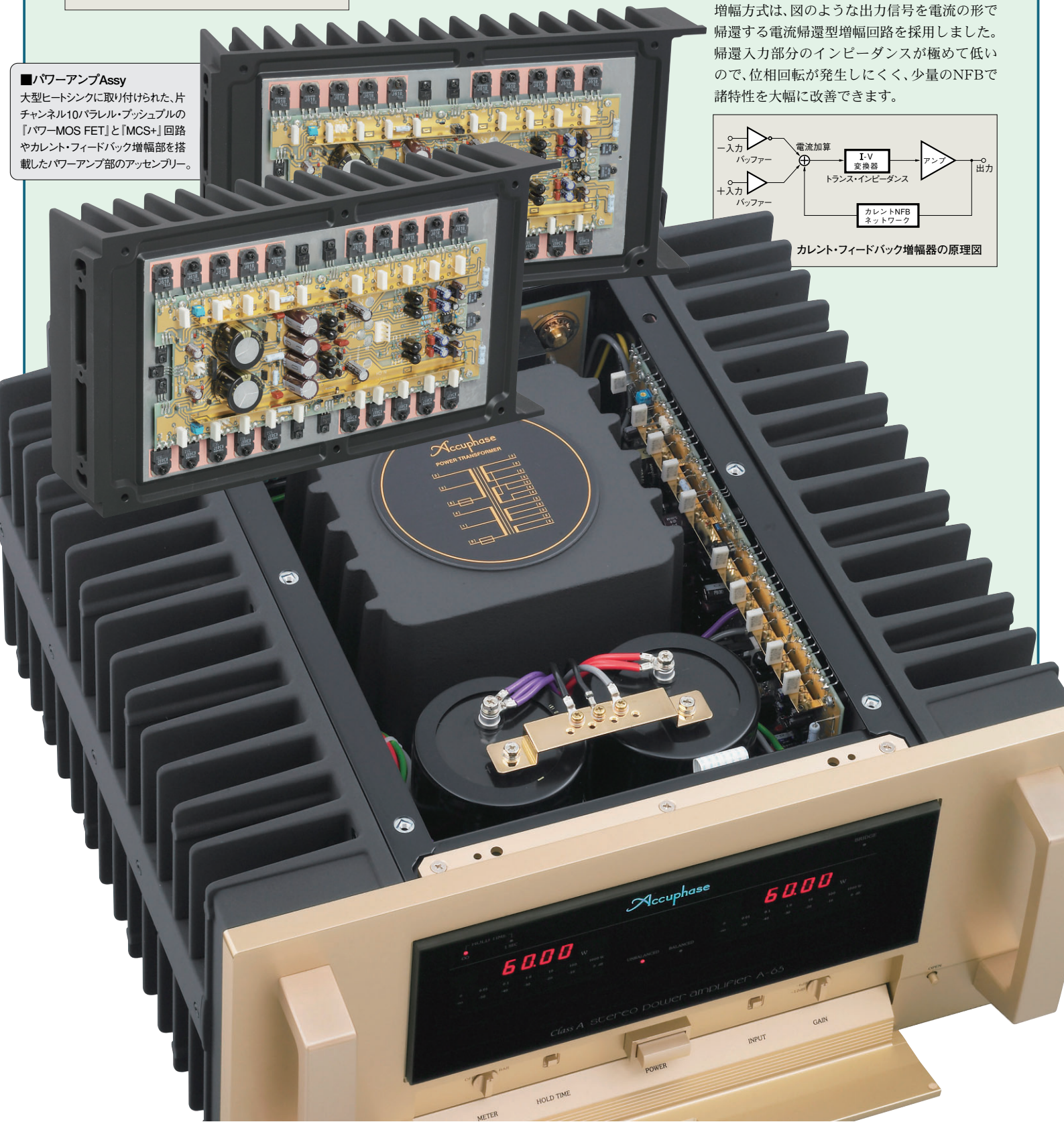
高域の位相特性に優れたカレント・フィードバック増幅回路

増幅方式は、図のような出力信号を電流の形で帰還する電流帰還型増幅回路を採用しました。帰還入力部分のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生しにくく、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できます。



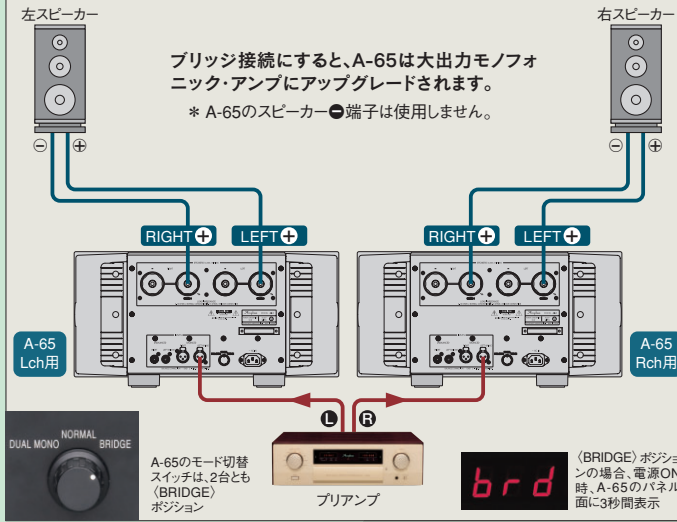
カレント・フィードバック増幅器の原理図

■パワーアンプAssy
大型ヒートシンクに取り付けられた、片チャンネル10/バラレル・プッシュプルの『パワー-MOS FET』と『MCS+』回路やカレント・フィードバック増幅部を搭載したパワーアンプ部のアッセンブリー。

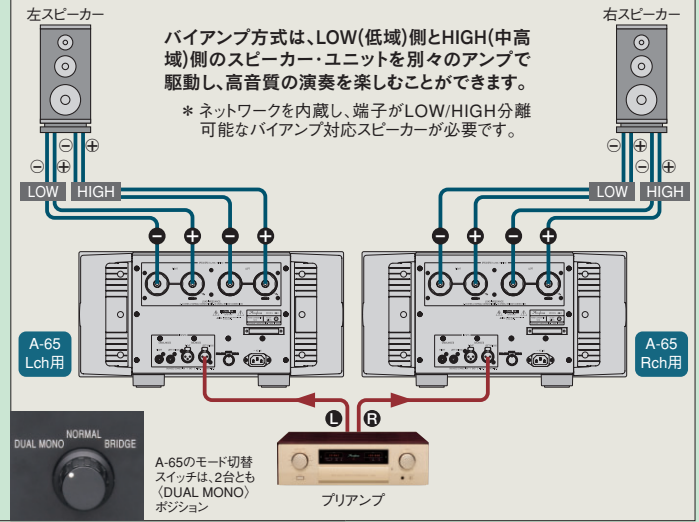


■A-65を2台使用して、ブリッジ接続やバイアンプ接続にアップグレードすることができます。■入力信号は2台ともLEFT端子 (BALANCED又はUNBALANCED) へ接続します。

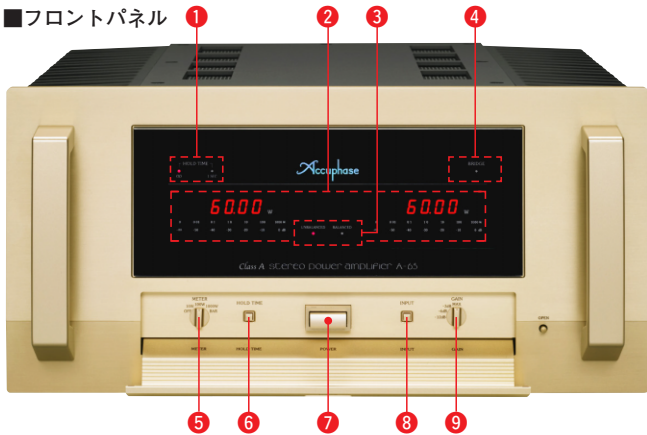
ブリッジ接続の例



バイアンプ接続の例



■フロントパネル



■リアパネル



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 ホールドタイム・インジケーター 2 左右チャンネル・パワーメーター
《デジタルとバーグラフ表示は切り替え》 3 入力インジケーター 4 ブリッジ・インジケーター 5 メーター・スイッチ
《メーターOFF、レンジ切替、バーグラフ切替》 6 ホールドタイム切替ボタン 1SEC、∞ 7 電源スイッチ 8 入力切替ボタン UNBALANCED、BALANCED 9 ゲイン切替スイッチ
MAX、-3dB、-6dB、-12dB | <ul style="list-style-type: none"> 10 左右チャンネル・スピーカー出力端子 11 アンバランス入力端子 12 バランス入力端子
①グラウンド ②インパート(-)
③ノン・インパート(+) 13 モード切替スイッチ
DUAL MONO、NORMAL、BRIDGE 14 AC電源コネクター |
|---|--|

付属品 ●AC電源コード

A-65 保証特性

[保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

- 定格連続平均出力 (20~20,000Hz間) 注意:(*)印の負荷は、音楽信号に限る。

ステレオ仕様時	480W/ch	1Ω負荷(*)
(両チャンネル同時動作)	240W/ch	2Ω負荷
	120W/ch	4Ω負荷
	60W/ch	8Ω負荷
モノフォニック仕様時	960W	2Ω負荷(*)
(ブリッジ接続)	480W	4Ω負荷
	240W	8Ω負荷
- 全高調波ひずみ率

ステレオ仕様時(両チャンネル同時動作)	0.07% 2Ω負荷
	0.05% 4~16Ω負荷
モノフォニック仕様時(ブリッジ接続)	0.03% 4~16Ω負荷
- IMひずみ率 0.01%
- 周波数特性

定格連続平均出力時: 20~20,000Hz	+0 -0.2dB
1W出力時	:0.5~160,000Hz +0 -3.0dB
- ゲイン(利得) 28.0dB (GAINスイッチ:MAX時)
(ステレオ/モノフォニック仕様時共)
- ゲイン切替 MAX、-3dB、-6dB、-12dB
- 負荷インピーダンス

ステレオ仕様時	2~16Ω	※音楽信号に限り、ステレオ1Ωと
モノフォニック仕様時	4~16Ω	モノフォニック2Ω負荷可能
- ダンピング・ファクター 400
- 入力感度 (8Ω負荷、GAINスイッチ:MAX時)

ステレオ仕様時	0.87V 定格連続平均出力(60W)時
	0.11V 1W出力時
モノフォニック仕様時	1.74V 定格連続平均出力(240W)時
	0.11V 1W出力時
- 入力インピーダンス バランス 40kΩ、アンバランス 20kΩ
- S/N(A補正、入力ショート) 115dB GAINスイッチ MAX
121dB GAINスイッチ -12dB
定格連続平均出力時
- 出力メーター

デジタル・メーター	5桁表示、レンジ切替(10W/100W/1000W)
バーグラフ・メーター	25ポイント表示
ホールド・タイム	1秒/∞ 切替式

*表示消灯機能付き *モノフォニック仕様時:左右同一値表示
- 電源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力

280W	無入力時
530W	電気用品安全法
380W	8Ω負荷定格出力時
- 最大外形寸法 幅465mm×高さ238mm×奥行515mm
- 質量 43.0kg



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 密閉されたラック内や水、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しない。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

※本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



ACCUPHASE LABORATORY, INC.
アキュフェーズ株式会社
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052
http://www.accuphase.co.jp/